

ネギ

作 型（4月中旬定植の場合）

月 旬 作 型	2月			3月			4月			5月			6月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
青ネギ 春播き夏取り (4月中旬定植)	○～○ □ - □△◎ ● - - ● - ● - 播種 堆肥散布 元肥施用 圃場準備 定植 追肥・土入 追肥・土入 追肥・土入 〈-----病虫害防除---														
	7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
	収 穫						収 穫			(5月定植の場合)					
	→														

月 旬 作 型		2 月			3 月			4 月			5 月			6 月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
白ネギ 春播き夏秋取り (4月中旬定植)		○～○ □ — □ △ ◎ ● — — ● — ● —														
		播種 堆肥散布 元肥施用 圃場準備 定植 追肥・土入 追肥・土入 追肥・土入														
		----->病虫害防除-----<														
		7 月			8 月			9 月			1 0 月			1 1 月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
		●	—	●	—	25cm 収 穫										
					●	30cm 収 穫										
		追肥・土寄		追肥・土寄		追肥・土寄										
		(5月定植の場合)														
		----->病虫害防除-----<														

栽培のポイント	1. 有機肥料の追肥と土寄せを定期的に行う。（さび病が減る） 2. 病害虫防除を定期的に行う。（アザミウマなど） 3. 土壌酸度は中性を好む。 4. 圃場は額縁排水溝を設置して排水を良くしておく。
---------	---

青・白ネギ（春播き）

月 旬	管理作業	管 理 内 容
2月下旬 ～3月上旬 育苗期間 50～60日	播種 灌水 発芽管理	・土が湿るように1箱に3割ほど、灌水する。 ・水稻の発芽器を23℃にセットし、5～6日程度入れておく。発芽器からの搬出目安は子葉が出だした頃とし遅れないように注意する。 (搬出が遅れると徒長苗、苗傷みが起こる)
3月中旬 3月下旬	搬出準備	・ハウス、トンネルは搬出の2～3日前に展張して内部を暖めておく。
	育苗 (出芽～出芽10日)	・生育の揃いが苗質に大きく影響するため、温度管理（高温、低温）、灌水管理による過湿、過乾燥にならないように細心の注意が必要である。
	温度管理	・ハウス内温度は<u>昼間15～20℃</u>（25℃を越えないように換気する）、<u>夜間は15℃以上</u>になるように、ハウスサイドを閉め保温に努める。
	灌水	・低温期は土の湿り具合を確かめながら、2～3日に1回程灌水する。 ・灌水の目安 晴天時 1日1回 曇天時 土の湿り具合を確認し乾燥していれば灌水を行う。 雨天時 行わない。 *曇天、雨天後の晴天時は乾燥している場合が多いので特に注意する。
	(出芽30日) 定植前 温度管理	・ハウス内温度は<u>昼間15～20℃</u>（25℃を越えないように換気する）、<u>夜間は10℃以上</u>になるように、ハウスサイドを閉め保温に努める。 しかし、定植3～4日前頃から、換気に努め苗が外気温に慣れるようにする。
	灌水	・過灌水は苗を徒長させやすいので乾燥気味に管理する。 ・灌水の目安 晴天時 朝たっぷり行い、昼は土の湿り具合を確認しながら補助的に行う。 曇天時 土の湿り具合を確認しながら行う。 雨天時 土の湿り具合を確認しながら行う。 *ハウス周辺部が特に乾燥しやすく、生育不揃いの原因になりやすいので注意する。
	定植適期 (苗の大きさ)	・定植適期の苗の大きさは、葉数2枚程度、草丈15～20cm程度である。20cm以上の大きさになると、「根がらみ」をおこし、「ひっぱりくん」で上手に定植できなくなるので注意する。
	定植前日	・定植前日に苗箱に、灌水しポットの土が崩れないようにする。

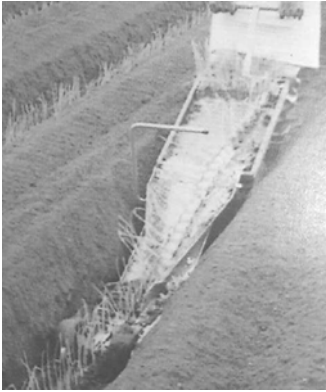
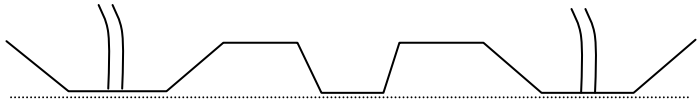
青ネギ（4月中旬定植の場合）

3月中旬～ 4月上旬	本圃管理 元肥 畝作り	・モミガラ堆肥は前年又は定植の1ヶ月前までに施用する。 ・元肥は定植10日前までに施用する。 ※一括肥料を使用する場合は、施肥基準を確認してから行ってください。 ・植溝は土の乾燥を防ぐため、できるだけ定植当日につくる。 ・耕うんは低速で行い、出来るだけ土を細かくし苗の活着を良くする。 ・畝幅85cm、溝幅35cmの畝とする。 ・植え溝の幅は35cm程度とり「ひっぱりくん」で上手く植えられるように、表面の土をならしておく。
4月中旬	定植	・定植は平均気温が12℃以上となる4月中旬以降が適している。 ・溝の底に柔らかい土が5cm程度残るようにする。少ない場合は畝の肩を落とすと良い。 85cm 35cm 《10aあたり苗70枚》 耕盤より上に植える ・植え付け後、倒れたポットや覆土の少ないポットの手直しをする。

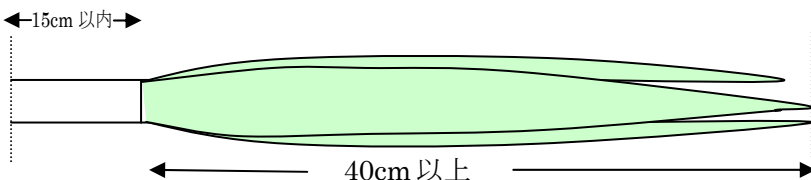
白ネギ（4月中旬定植の場合）

3月中旬～ 4月上旬	本圃管理 元肥 畝作り	・モミガラ堆肥は前年又は定植の1ヶ月前までに施用する。 ・元肥は定植10日前までに施用する。 ※一括肥料を使用する場合は、施肥基準を確認してから行ってください。 ・植溝は土の乾燥を防ぐため、できるだけ定植当日につくる。 ・耕うんは低速で行い、出来るだけ土を細かくし苗の活着を良くする。 ・畝幅105cm、溝幅35cmの畝とする。 ・植え溝の幅は35cm程度とり「ひっぱりくん」で上手く植えられるように、表面の土をならしておく。
4月中旬	定植	・定植は平均気温が12℃以上となる4月中旬以降が適している。 ・溝の底に柔らかい土が5cm程度残るようにする。少ない場合は畝の肩を落とすと良い。 105cm 35cm 《10aあたり苗60枚》 目安棒 30cm 耕盤より上に植える ・植え付け後、倒れたポットや覆土の少ないポットの手直しをする。 ・土寄せ作業の目安として、目安棒を設置する。

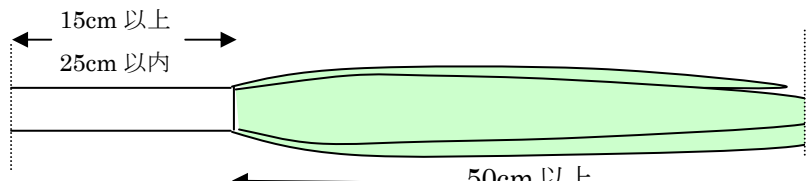
青・白ネギ（4月中旬定植の場合）

ひっぱりくんの使い方 		・苗箱のまま「ひっぱりくん」にのせる。 ・案内板を苗箱の底にある紙の下に入れる。 ・苗の先端（紙ポット）を引っぱり出し、溝の中心に棒などで止める。 ・苗が垂直に、またポットに土が覆土されるように丁寧にゆっくりと後ろ歩きしながら植える。 ・苗を足すには、ホッチキスで次の紙ポット同士を止めて植える。 ・植え付け姿勢が傾いているポットや、ポットが見える場合は手直しをする。
4月中旬	除草	・定植後早めにゴーゴーサン乳剤 30 を 10 a 当り 200ml、水 100 ㍓に希釈して散布する。 - 又は、ゴーゴーサン細粒剤 F を 10 a 当たり 4 kg、土が湿った状態で散布する。（定植 10 日後までに 1 回のみ）
4月下旬	追肥 土入れ （1回目）	・定植直後の植え付け肥は株元から少し離れて施す。 ・10日目の土入れは、株元に土を寄せないようにする。 ・追肥は土入れ時に土と混合しながら株元に寄せる。
5月下旬	排水対策	梅雨入り前に植え溝内に溝をつくり排水に努めましょう。また、額縁排水にも努めましょう。 
青ネギ 5月下旬～ 6月下旬	トモエ14号使用時 追肥 土入れ、土寄せ （2～3回目）	・追肥は土入れ、土寄せ時に土と混合しながら株元に寄せる。 ※一括肥料を使用している場合でも、ネギの生育状態を見ながら必要に応じて追肥を行ってください。 ・雨天が続く日（梅雨期など）は土寄せを避ける。（軟腐病の予防）
白ネギ 5月下旬～ 8月中旬	トモエ14号使用時 追肥 土入れ、土寄せ （2～6回目）	

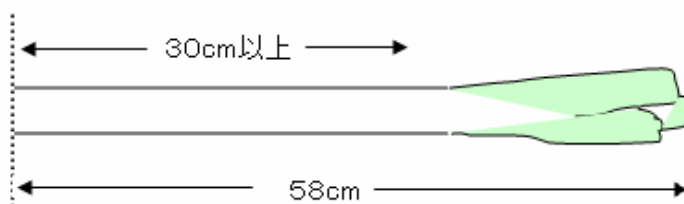
青ネギ

7月中旬～	収 穫	・植溝塞ぎより20日後が収穫期の目安となる。 ・試し堀りをして軟白長15cm以下、葉伸長40cm以上になってから収穫する。(全長は出荷規格に準ずる) ・葉折れ防止のため、収穫後少し乾かし、皮むき作業を行う。 ・根は短く切るが茎盤部は残す。
	出 荷	 ←15cm 以内→ ←40cm 以上→ ・軟白部は白い部分のみ。葉の枚数は3～3.5葉とする。

長ネギ

8月上旬～	収 穫	・試し堀りをして軟白長15cm以上25cm以下、葉伸長50cm以上になってから収穫する。(全長は出荷規格に準ずる) ・葉折れ防止のため、収穫後少し乾かし、皮むき作業を行う。 ・根は短く切るが茎盤部は残す。
	出 荷	 ←15cm 以上 25cm 以内→ ←50cm 以上→ ・軟白部は白い部分のみ。葉の枚数は3～3.5葉とする。

白ネギ

8月中旬～	収 穫	・最終土寄せより20日後が収穫期の目安となる。 ・試し堀りをして軟白長30cm以上40cmまでになってから収穫する。また、調整後の葉伸長が18cm以下にならないよう収穫を行う。(全長は出荷規格に準ずる) ・葉折れ防止のため、収穫後少し乾かし、皮むき作業を行う。 ・根は短く切るが茎盤部は残す。
	出 荷	・全体の長さが、揃うように葉を切る。  ←30cm 以上→ ←58cm→ ・軟白部は白い部分のみ。葉の枚数は3～4葉とする。

施肥基準 【エコファーマー】

分肥施肥基準

(kg/10a)

区分	肥 料 名		施 肥 量	時 期
元肥	堆肥		2,000	前年又は定植 1 ヶ月前まで
	マグエース(マグフミン)		100	定植 10 日前まで
	ようりん		40～50	定植 10 日前まで
	トモエ 1 4 号		60	定植 10 日前まで
追肥	青 ネ ギ	有機アグレット 674	20	定植 10 日後
			50	定植 40,65 日目 (合計 100kg)
		マグエース(マグフミン)	40	定植 65 日目頃(第 3 回植溝塞ぎ時)
		ようりん	20	定植 65 日目頃(第 3 回植溝塞ぎ時)
	長 ・ 白 ネ ギ	有機アグレット 674	20	定植 10 日目
			50	定植 40,65,85,105 日目 収穫 20 日前 (合計 250kg)
		マグエース(マグフミン)	40	定植 65 日目頃(第 3 回植溝塞ぎ時)
		ようりん	20	定植 65 日目頃(第 3 回植溝塞ぎ時)

一括肥料施肥基準

(kg/10a)

区分	肥 料 名		施 肥 量	時 期
元肥	堆肥		2,000	前年又は定植 1 ヶ月前まで
	マグエース (マグフミン)		100	定植 10 日前まで
	ようりん		40～50	定植 10 日前まで
	スーパーSRコート		120	定植 10 日前まで
追肥	長 ・ 白 ネ ギ	マグエース (マグフミン)	100	定植 65 日目頃(第 3 回植溝塞ぎ時)
		ようりん	20	定植 65 日目頃(第 3 回植溝塞ぎ時)
		有機アグレット 674	50	定植 85 日目頃(第 4 回土寄せ時)

* スーパーSRコートは元肥一括肥料ですが、ネギの生育具合を見て追肥を行って下さい。

土寄せ・追肥時期の目安について

定植後日数			時 期	葉鞘径	追肥 有機アグレット 674
青 ネ ギ	白 ネ ギ	定植		2～2.5 mm	
		1 0 第 1 回	土 入 れ(定植 10～15 日後)		20kg/10a
		4 0 第 2 回	土 入 れ(定植 40～45 日後)	8～10 mm	50kg/10a
		6 5 第 3 回	植溝塞ぎ(第 2 回土入れから 25～30 日後)		50kg/10a
		8 5 第 4 回	土 寄 せ(植溝塞ぎから 20～25 日後)	14 mm 以上	50kg/10a
		1 0 5 第 5 回	土 寄 せ(第 4 回土寄せの 20～30 日後)		50kg/10a
		収穫 2 0 日前 第 6 回	土 寄 せ(収穫予定日から逆算する)		50kg/10a

施肥基準 【福井県特別栽培農産物認証適応】

分肥施肥基準 (化学性窒素 4.8kg/10a)

(kg/10a)

区 分	肥 料 名	施肥量	備 考
元肥	堆肥	2,000	
	マグエース (マグフミン)	100	アルカリ 73%
	ようりん	40	リン酸 20%、苦土 12%、アルカリ 45%
	トモエ 14 号	60	8(An - N:7) - 9 - 7
追肥	有機アグレット 674	270	6 - 7 - 4

※窒素施用総量：21.0 kg/10 a

一括肥料施肥基準 (化学性窒素 10.2kg/10a)

(kg/10a)

区 分	肥 料 名	施肥量	備 考
元肥	堆肥	2,000	
	マグエース (マグフミン)	100	アルカリ 73%
	ようりん	40	リン酸 20%、苦土 12%、アルカリ 45%
	スーパーSRコート	60	夏秋どり白ネギ専用 722、17 - 12 - 12
追肥	有機アグレット 674	150	6 - 7 - 4

※当施肥基準では、「勝山もみがら堆肥」使用不可 (堆肥 2 t あたり 8 kg の化学性窒素含む)

※窒素施用総量：20.4 kg/10 a

土寄せ・追肥時期の目安について

定植後日数			時 期	葉鞘径	追肥 有機アグレット 674
一括	分肥	定植		2～2.5 mm	
		10 第1回	土 入 れ(定植 10～15 日後)		20kg/10a
		40 第2回	土 入 れ(定植 40～45 日後)	8～10 mm	50kg/10a
		65 第3回	植溝塞ぎ(第2回土入れから 25～30 日後)		50kg/10a
		85 第4回	土 寄 せ(植溝塞ぎから 20～25 日後)	14 mm以上	50kg/10a
		105 第5回	土 寄 せ(第4回土寄せの 20～30 日後)		50kg/10a
		収穫 20 日前 第6回	土 寄 せ(収穫予定日から逆算する)		50kg/10a

ネギ防除体系（4月中旬定植の場合）

月 旬 作 型		2 月			3 月			4 月			5 月			6 月			
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
作業工程		○	□	～	□	～	□	△	◎	●	－	－	●	－	●	－	
除 草 剤	ゴーサン細粒剤F																
アザミウマ類	ダントツ粒																
ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	アルバリン水								育苗 灌注					発生に合わせて適宜使用 (2,000倍使用)			
ネギアザミウマ シロイモジヨトリ さび病	ハチハチ乳剤													発生に合わせて適宜使用			
さび病 黒斑病	アミスター20 フロアブル													発生に合わせて適宜使用			
軟腐病	オリゼメート																
	バイオキパー																
		〈-----病害虫防除-----															
作業項目名		7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			
○ 播種		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
□ 育苗期間		●	－	●	－	25cm 収 穫											
△ 肥料散布						●	30cm 収 穫										
◎ 定植												収 穫					
● 土寄せ		(5月定植の場合)															
アザミウマ類	ダントツ粒																
ネギアザミウマ類 ネギハモグリバエ	アルバリン水	発生に合わせて適宜使用 (2,000倍使用)															
ネギアザミウマ シロイモジヨトリ さび病	ハチハチ乳剤	発生に合わせて適宜使用															
さび病 黒斑病	アミスター20 フロアブル						発生に合わせて適宜使用										
軟腐病	オリゼメート																
	バイオキパー				発生に合わせて適宜使用												
		-----病害虫防除-----〉															

※但し、特栽ネギの場合、アルバリン水、ハチハチ乳剤、アミスター20フロアブルの総使用回数を4回以内に抑えること。